

# 平成29年度 東京都予算要望

一般社団法人 東京都医療社会事業協会

日頃より医療社会事業につきまして、ご理解ご支援を賜り感謝申し上げます。また、病院を退院する患者を支援する医療ソーシャルワーカーへの深いご理解と活発な啓蒙活動、新たな施策と予算措置の前進に深く感謝致します。

平成28年度診療報酬改定や地域包括ケアシステムの推進など、都民や医療機関を取り巻く医療福祉の様相も大きく変化して来ています。特に、在宅診療料の算定変更や病床機能の再編と算定要件の強化などは、直接都民へのしわ寄せが起こる事態と言っても過言ではありません。財政制度等審議会では、世代間の負担の公平化を図るとの名目で、高額療養費の自己負担額変更により高齢者の自己負担額上限を引き上げようとしています。

また、4月14日に起きた熊本地震では、日本列島全体が活動期であることを証明し、首都圏直下型地震への準備を早急にしなければならぬと誰しもが痛感したと思います。

そして、このような課題の多い医療福祉分野において、ソーシャルワーカーの果たす役割と機能はますます高度な質と量が求められています。

## 1. 都民の医療福祉の向上のために

### (1) 巡回医療福祉相談会の継続

昭和62年度より継続している「地域医療福祉巡回相談事業」は、都民の身近な相談の機会としてますます必要とされています。現代社会は情報が大量、多岐に渡り、いつでもどこでも接することが出来るように思えます。しかしながら、実際に必要としている高齢者など医療福祉が必要な層には、及んでいません。ますます格差社会が進んでいます。医療保険、社会保障制度から外れ、重篤な疾病に進行したり、健康的な日常生活の崩壊に至る前に、問題解決の糸口を見つけ関係諸機関に繋げるなど、医療福祉の介入が早期から必要な状況が生まれています。今後も有効な形での相談の機会提供をめざすため予算をお願いします。

### (2) 通年での電話相談窓口の新設

例年2月に1週間という限られた期間に「医療と福祉110番」の電話相談事業を行っております。昨年度の「医療と福祉110番」では、月曜日から土曜日までの6日間に64件の電話相談がありました。相談内容では、病気や治療の障害となっている心理的不安等の精神的問題、病気から派生した本人家族の社会生活上の問題、医療施設や社会福祉施設の利用をめぐる問題に関する相談が多くありました。また、協会事務所には、年間を通して電話がかかってくる現実があります。しかし、事務職

員は、専門職でないため、要望にお答えできない状態です。

このことから、通年で都民および関係機関からの医療福祉に関する電話相談に対応し都民の福祉の向上を図ることが必要と考えます。相談員には30年以上の経験豊富な医療ソーシャルワーカーがあたります。また、必要に応じ当協会の理事、地域巡回医療福祉相談会を開催している各ブロックの医療ソーシャルワーカーと連絡を取り合い、地域との連携を図ります。このことにより、個別相談にあたるとともに、関係機関からの相談に対応することを通じて、東京都における地域包括ケアシステムの実現と質の向上に寄与するものと考えます。

つきましては、平成29年度より毎週1日を常設として電話相談をお受けしたいと考えています。その際の人件費、広報費用などを助成していただきたく、別紙のとおり要望致します。

### **(3) 市区町村「在宅療養相談窓口」への医療ソーシャルワーカー活用の促進**

市町村における「在宅療養相談窓口」について、在宅関係機関と入退院での医療機関との連携は不可欠と考えます。都民及びケアマネジャーなどの関係職種が、刻々と変化する医療供給体制の機能分化に関する適切な情報提供を受けた上で在宅療養生活のあり方を選択することが必要です。医療ソーシャルワーカー(MSW)が相談に応じることで、より適切な選択を可能とできると考えます。

### **(4) 「東京都在宅療養移行支援事業」の拡大**

現在、200床未満の2次救急医療機関に対し退院支援を行うために新たに配置した看護師又は社会福祉士等の人件費の補助があります。対象を療養型医療機関、在宅医療機関、外来部門に拡大することが、在宅療養の基盤強化に寄与するものと考えます。

## **2. 医療ソーシャルワーカーの人材育成のために**

近年の医療福祉を取り巻く状況は、「子供の貧困、小児医療の問題」、「国民健康保険の都道府県化」、「地域医療構想」における病床数の推計、「地域包括ケアシステム」など、多岐に渡っています。こうした複雑になった厳しい状況の中で、私たち医療ソーシャルワーカーが果たす役割は、ますます多くなってきています。わかりにくい制度や政策の情報を集約し、的確に支援できる力量が求められますし、ソーシャルワーカーとしてより質の高い実践を展開できるよう専門性も磨く必要があり、職能団体としても体系的な教育・養成に努めていく所存です。

医療ソーシャルワーカーの人材育成は、都民の医療福祉の観点からも大切な事業であると考え、そのための予算の増額を要望します。

### **(1) 新人医療ソーシャルワーカーの人材育成**

入職3年未満の医療ソーシャルワーカーの人材育成をするために新任講習を行っています。

現在の会員数は、893名で、今年度の新加入者数は95名、そのうち新人研修受講希望者は64名で、定員60名を超えています。

### **(2) スーパービジョン講習**

新人研修を受講後の医療ソーシャルワーカーの専門的知識・技術の向上に、講師の助言を得ながら、事例検討などによるスーパービジョンを実施し、ソーシャルワーク業務を明確化させ、業務に反映させます。

### **(3) 中堅医療ソーシャルワーカーの人材育成**

現在、初任者研修、グループスーパービジョンを毎年開催しております。初任者研修は経験年数1年目から3年目、グループスーパービジョンは経験年数1年以上を対象としており、ソーシャルワークのスキルアップを図っており、都民へ質の高い支援が提供できるものと期待されます。

しかし、昨今の都内の医療機関等において多人数の医療ソーシャルワーカーが配置されていることが多く見受けられます。多人数配置の職場では職場内で相談・解決できる体制が整いつつある反面、所属する中堅の医療ソーシャルワーカーは、院内外の調整業務の他に部下・後輩の育成も行う重要な立場にありながら、自身の立ち位置の悩み、後進育成と熟成した育成プログラムを学ぶ機会がありません。そのため、中堅の医療ソーシャルワーカー向けに継続的に研修を実施したく存じます。中堅の医療ソーシャルワーカーが学び育つことで、都内全体の医療ソーシャルワーカーの技術向上が図れ、各職場が充実した業務を遂行することで、都民の直接の利益につながると思われます。

### **(4) より幅広いがん相談支援に向けた人材育成**

近年がん医療の進歩に伴い、がんと共に生きる時代となりライフステージに応じた社会経済的な課題への対応が求められています。私たち医療ソーシャルワーカーは、それらの解決に取り組む相談援助職であり、機関間で支援を繋ぐ重要な役割を担っています。一方、現在のがん対策では、がん診療連携拠点病院を中心とした緩和ケア、相談支援の体制整備が進められていますが、がん診療連携拠点病院とがん診療連携拠点病院以外の機関の従事者との情報量や知識等に偏りが生じています。

当協会では、患者の社会的課題の複雑化に対応するべく急性期から慢性期まで病院、診療所、介護施設等で働く医療ソーシャルワーカーを対象に、平成25年度から「がん相談支援の人材育成」を目的とした活動を行ってきました。しかし、今後も継続が必要と考えますので、患者の地域社会におけるQOLの向上をめざし、価値・倫理の学びと知識の向上、ネットワークの構築に努め、がん患者さんがどこに

いても、がん相談を受けられるような体制づくりのための人材育成研修を行う事業予算を要望いたします。

○活動内容

	タイトル	内容
平成 25 年度	各現場におけるがん相談支援	自由討論会
平成 26 年度	人の価値観にふれ、自分の価値観に出会う～最期まで自分らしく生きること、その過程に MSW としてどのように寄り添うか～	事例検討：判断力が低下している患者さんの意思決定支援
平成 27 年度	ソーシャルワークを繋ごう～いつまでも、どこでも、自分らしく寄り添う～	事例検討：多くの社会的役割を担う働く世代のがん相談支援
平成 28 年度	がん相談における MSW の視点～がん相談支援センターの MSW の立場から～	講義：社会保障制度の活用等 事例検討：個々の生活課題の解決を図るがん相談支援
平成 29 年度	地域ネットワークとがん相談支援～在宅療養支援診療所の MSW の立場から～	講義：在宅医療と MSW の役割 事例検討：個別支援から見える地域課題と支援の展開

**(5) 災害時ソーシャルワークのための人材育成**

東日本大震災以降、医療ソーシャルワーカーは被災地における支援活動やフィールドワークを行ってきました。被災地においては、災害時要配慮者に対する医療福祉の視点による支援が求められます。医療ソーシャルワーカーによる災害支援をより強化するため、東京都として震災支援研修を行う事業予算を要望いたします。

**3. 東京都の災害対策について**

**(1) 災害時対応や支援についての研修**

災害時の要配慮者への対応・支援を行うに際し、平常時より各関係職種・関係機関は備えを強固にしてゆく必要があります。そのためには次のような研修が必要です。

- ①東京都の災害時対応施策や、医療・福祉関係各機関の対応についての基礎知識に関する研修（災害対策基本法、災害救助法、激甚災害財政援助等に関する法律などを学ぶ）
- ②地域包括ケアシステム事業における災害時対応時の研修

**(2) 広域避難者の総合的支援の継続**

当協会の会員が避難者との交流会等に参加したときの避難者の声や、県で実施した

避難者に対する調査内容から、避難者が抱えている不安の中に、「住まい(住居)」の問題が浮き彫りになっています。

原発事故の避難指示区域指定解除・区域外避難者の住宅支援が2017年3月末にて打ち切りとなるにあたり、限られた期間では、就業の問題、子育ての問題、高齢者の問題、コミュニティの問題と多岐にわたる総合的支援を必要とするため全ての人が次の住まいを探し、決まることは困難です。

故に、帰還という選択だけではなく、現在の場所に住み続けることや、新しい場所に移住することなどの選択肢を持つことも必要とされます。

避難者の一人一人の状況に応じて、安心した暮らしができるよう、以下の助成策の実施をお願いいたします。

- ①都独自の住宅費助成の策定
- ②広域避難者への経済支援（医療費、一時就労支援など）
- ③広域避難者への相談・心理支援の体制整備・充実

東京都委託事業収支

		平成27年度			平成29年度 予算要望
		予算額	決算額	差異	予算額
人材養成(初任者及びグループスーパービジョン)		1,780,000	1,780,000	0	1,780,000
地域巡回医療福祉相談会		658,000	658,000	0	658,000
医療福祉電話相談		60,000	60,000	0	774,000
中堅MSW人材育成					350,000
がん相談支援人材育成					240,000
災害支援MSW人材育成					210,000
収入合計		2,498,000	2,498,000	0	4,012,000
人件費	グループスーパービジョン	950,000	935,508	14,492	950,000
	初任者講習	150,000	122,507	27,493	150,000
	成果編集	40,000	44,548	-4,548	40,000
	地域巡回医療福祉相談会	328,000	255,156	72,844	328,000
	医療福祉電話相談	80,000	62,000	18,000	576,000
	中堅MSW人材育成				250,000
	がん相談支援人材育成				100,000
	災害支援MSW人材育成				100,000
	小計	1,548,000	1,419,719	128,281	2,494,000
旅費交通費	グループスーパービジョン	10,000	8,000	2,000	10,000
	初任者講習	35,000	32,000	3,000	35,000
	地域巡回医療福祉相談会	50,000	48,098	1,902	50,000
	医療福祉電話相談	70,000	49,369	20,631	48,000
	中堅MSW人材育成				10,000
	がん相談支援人材育成				40,000
	災害支援MSW人材育成				20,000
	小計	165,000	137,467	27,533	213,000
会場費	グループスーパービジョン	504,000	263,800	240,200	504,000
	初任者講習	160,000	162,700	-2,700	160,000
	地域巡回医療福祉相談会	35,000	12,300	22,700	35,000
	中堅MSW人材育成				75,000
	がん相談支援人材育成				40,000
	災害支援MSW人材育成				30,000
	小計	699,000	438,800	260,200	844,000
会議費	グループスーパービジョン	30,000	30,000	0	30,000
	初任者講習	15,000	15,000	0	15,000
	地域巡回医療福祉相談会	100,000	27,000	73,000	100,000
	医療福祉電話相談	10,000	10,800	-800	0
	中堅MSW人材育成				0
	がん相談支援人材育成				0
	災害支援MSW人材育成				0
小計	155,000	82,800	72,200	145,000	
印刷製本費	グループスーパービジョン	40,000	40,000	0	40,000
	初任者講習	16,000	16,000	0	16,000
	地域巡回医療福祉相談会	30,000	109,026	-79,026	30,000
	中堅MSW人材育成				0
	がん相談支援人材育成				0
	災害支援MSW人材育成				0
小計	86,000	165,026	-79,026	86,000	
通信運搬費	グループスーパービジョン	88,000	175,437	-87,437	88,000
	初任者講習	16,000	30,702	-14,702	16,000
	地域巡回医療福祉相談会	35,000	63,108	-28,108	35,000
	医療福祉電話相談	0	335,742	-335,742	0
	中堅MSW人材育成				0
	がん相談支援人材育成				0
	災害支援MSW人材育成				0
小計	139,000	604,989	-465,989	139,000	
雑費	グループスーパービジョン	30,000	2,954	27,046	30,000
	初任者講習	5,000	517	4,483	5,000
	地域巡回医療福祉相談会	80,000	53,371	26,629	80,000
	医療福祉電話相談	240,000	113,593	126,407	150,000
	中堅MSW人材育成				15,000
	がん相談支援人材育成				60,000
	災害支援MSW人材育成				60,000
小計	355,000	170,435	184,565	400,000	
支出合計		3,147,000	3,019,236	127,764	4,321,000
収支差額		-649,000	-521,236	-127,764	-309,000